

音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点
複合施設整備について

仙台市

1 施設計画概要

■設計コンセプト: **たくさんの/ひとつの響き**

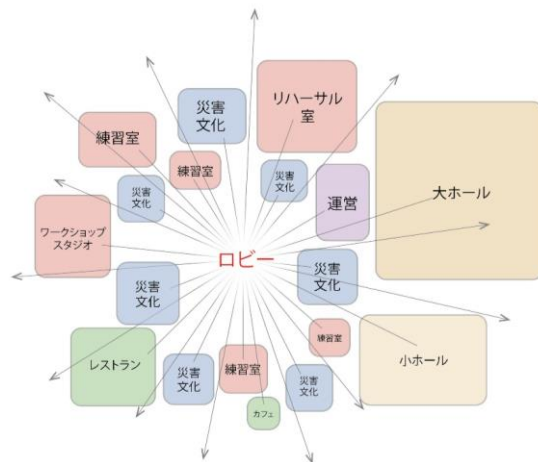
■多様な記憶や思い、活動が共存し響き合うこと (**たくさんの響き**) と、それらが時にはひとつにつながること (**ひとつの響き**) で連鎖していき、人と人、過去と未来が結びつく。

■文化芸術と災害文化が多層的に交わる空間の中で、まちを豊かで強靱にする仙台ならではの文化を創造し、世界に向けて発信する。

※東日本大震災からの復興の過程で再認識した文化芸術(寄り添う力、伝える力など)を活かし、
『**人・文化・まちを育む創造の広場**』(創造する力)となる施設を目指す

吹き抜け空間は、誰もが気軽に訪れられる憩いの場であり、その空間を中心として、多様な活動に触れることができる文化芸術・災害文化・広場のエリアが共存する施設とする。

→多様な目的を持った人々や活動が交わり、共鳴することで、新たな文化を創造する土壌が生まれる



▲交流イベントロビー

1 施設計画概要

敷地概要

所在地	仙台市青葉区青葉山2番1、2番4、2番5
敷地面積	約18,800㎡
用途地域	第二種住居地域
特別用途地区	文教地区
建ぺい率	60%
容積率	200%

建築概要

階数	地下2階、地上4階
建築面積	約10,600㎡
延床面積	約28,900㎡
構造	RC造、S造
建物高さ	29.5m(高さ制限30m以下)
駐車場台数	一般用 約90台ほか 関係者用駐車場

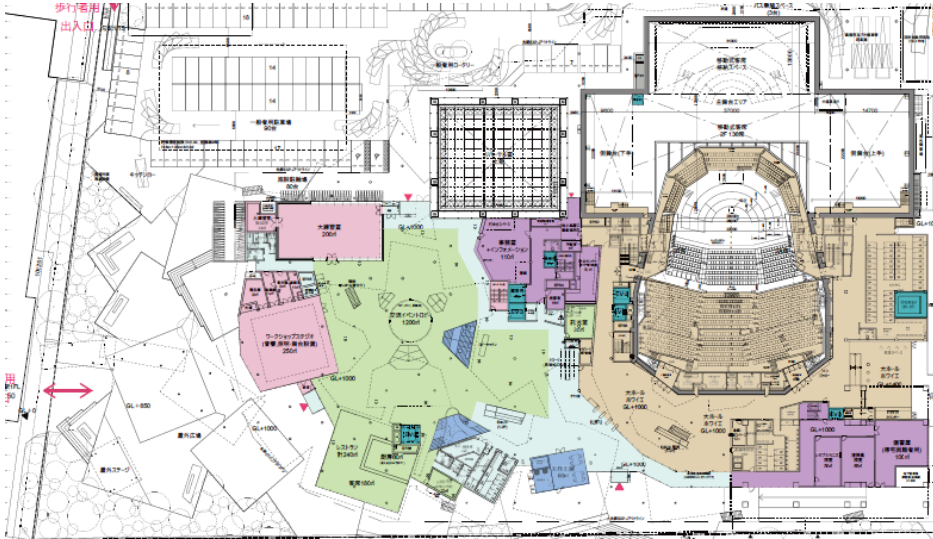


▲敷地南東より

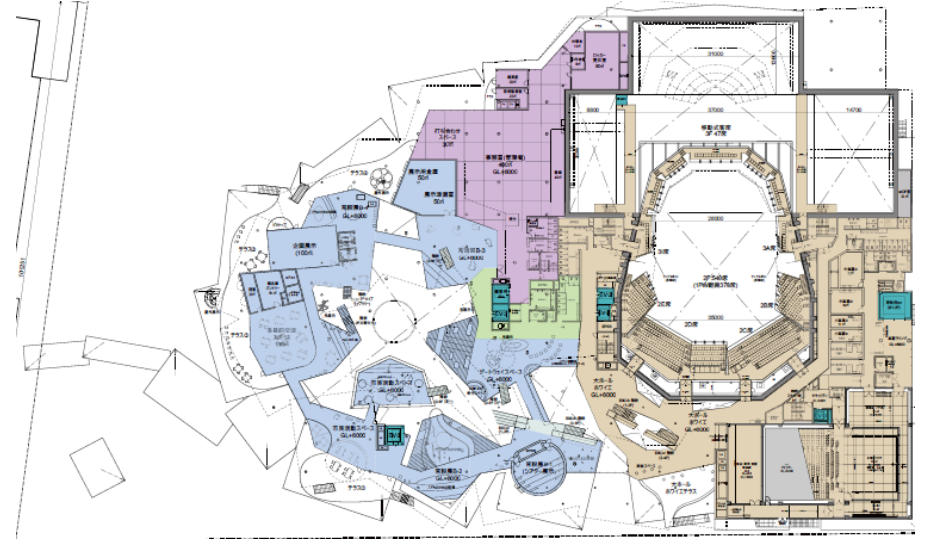
1 施設計画概要

■平面図(地上部分)

1F



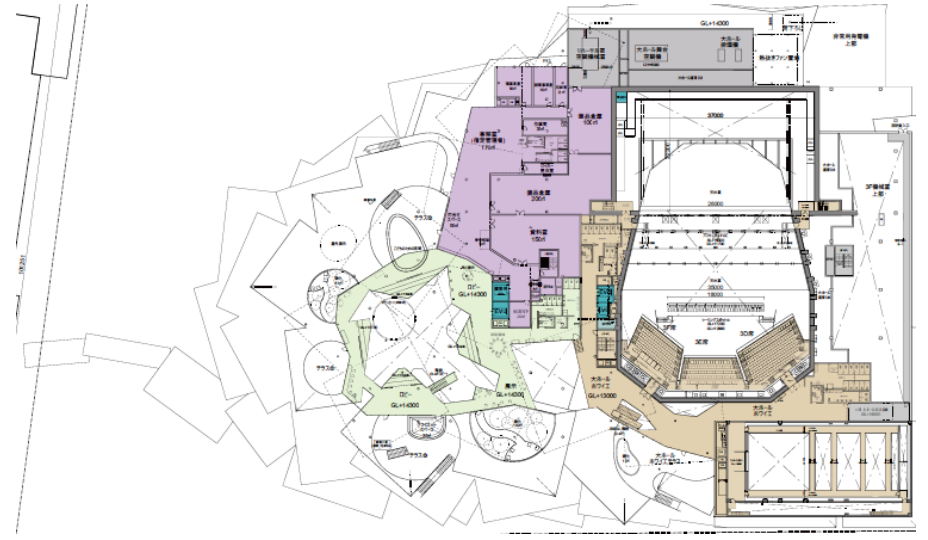
2F



3F



4F



1 施設計画概要

■ホールエリア・文化芸術エリア

■大ホール

生の音に対する優れた音響性能を持ち、2つの形式に転換可能な2000席規模のホール

■小ホール

生の音の響きを重視し、演劇、舞踊、演芸など、様々な舞台芸術にも利用できる約350席のホール

■リハーサル室

音楽と舞台芸術の双方に対応し、大ホール公演のリハーサルのほか観客数200名程度の発表会の利用も想定した空間

■その他

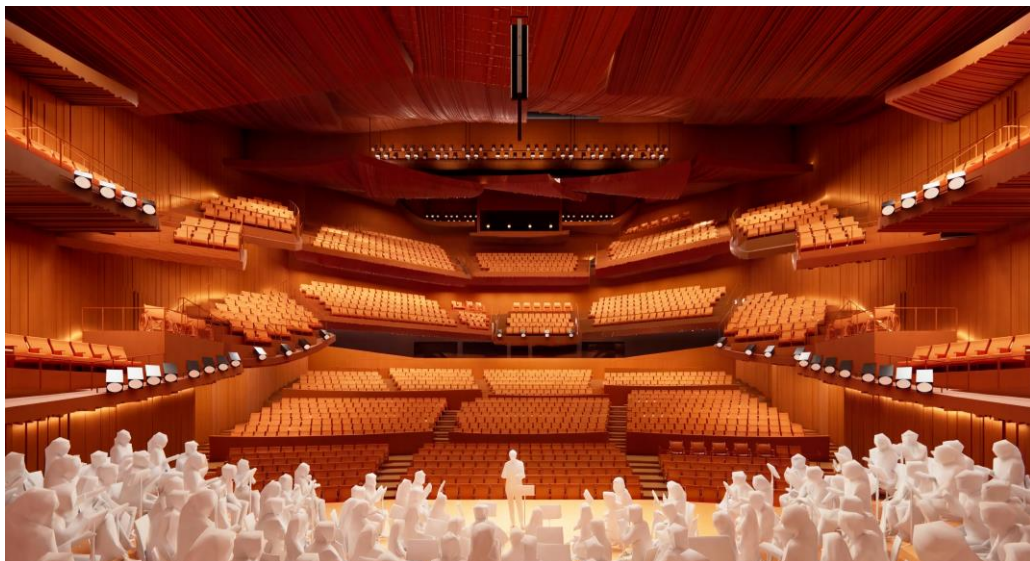
練習室12室(大・中・小)、ワークショップスタジオ



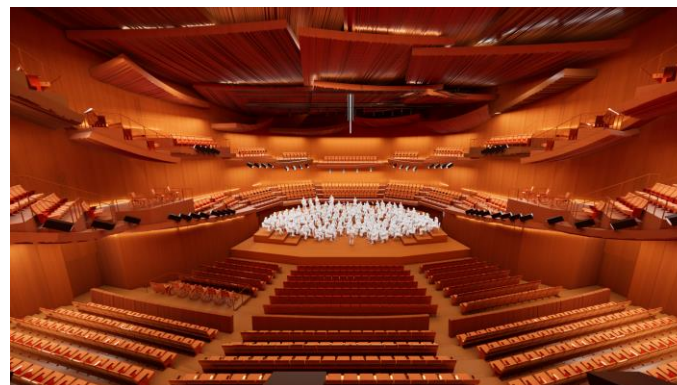
▲小ホール客席より



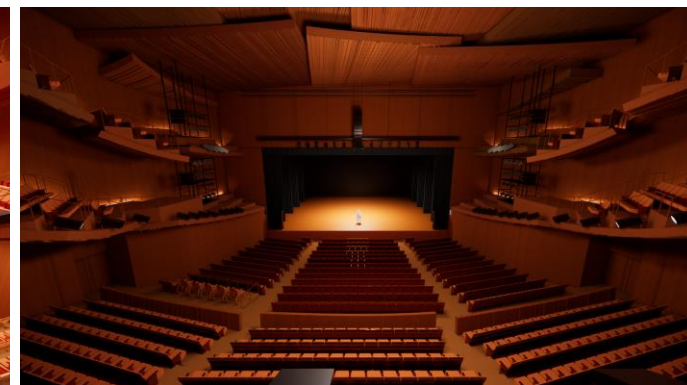
▲リハーサル室



▲大ホール(コンサートホール形式)舞台より



▲大ホール(コンサートホール形式)客席より



▲大ホール(プロセニウム劇場形式)客席より

1 施設計画概要

■災害文化エリア

交流ロビーの吹き抜けの周囲に、災害文化エリアの諸室を円環状に配置することで、ひとつひとつの展示・活動が一連の体験になる
さらに、展示や活動スペースを点在させることで、互いに適切な距離を取りながら、施設全体の他の機能と緩やかに繋がる



▲災害文化エリア



常設展示スペース

企画展示スペース

多目的交流スペース

市民活動スペース

ゲートウェイスペース

常設展示スペース

▲2階災害文化エリアゾーニングイメージ

1 施設計画概要

■施設外観

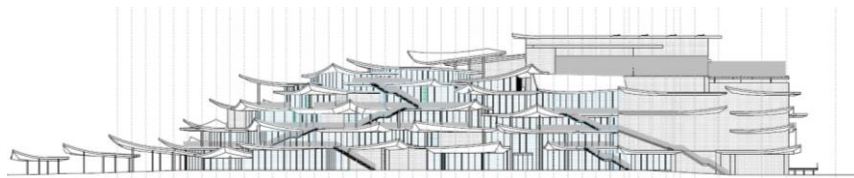
- 駅からの来館者に圧迫感を与えないよう、屋根をセットバックさせながら分節する
- 周辺の木々とスケール感を近づけることで、青葉山の景観との調和を図る



▲敷地南東より



▲南西鳥瞰



▲東面立面図



▲仙台城跡より



▲東側 桜の小径より



▲仲の瀬橋より

2 これまでの経過

音楽ホールの検討経過

1992年 「(仮称)仙台市音楽堂基本構想」策定
※長町地区への整備を計画→実現には至らず

2011年3月 東日本大震災 → 復興の過程で 文化芸術が力を発揮

2014年 「音楽ホール建設基金創設発起人会」発足
2015年 「楽都・仙台に復興記念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」設立

2017年「仙台市音楽ホール検討懇話会」設置

中心部震災メモリアル拠点の検討経過

2014年 仙台市震災復興メモリアル等検討委員会報告書 提出
⇒中心部・沿岸部の2拠点で展開することが有効

2016年 せんだい3.11メモリアル交流館 開館

2017年 震災遺構仙台市立荒浜小学校 開館

2020年 中心部震災メモリアル拠点検討委員会報告書 提出

2022年1月 複合整備の方針を表明

音楽ホール:文化芸術の総合拠点 × 災害文化の創造拠点:中心部震災メモリアル拠点

複合施設としての検討経過

2023年 複合施設基本構想 策定

2024年 複合施設基本計画 策定 ⇒ 設計者に『藤本壮介建築設計事務所』を選定し、基本設計に着手

2025年 基本設計(中間案) 公表

2026年 基本設計 完了

3 複合施設がもたらすもの — 文化芸術の“寄り添う力”を生かしていく



震災の2週間後から始まった
「音楽の力による復興センター・東北」の活動



届けたい
音楽にできること



芸は身を助ける
笑いも必要



演劇人だから
できることがある

3 複合施設がもたらすもの — 文化芸術の“伝える力”を生かしていく



地域文化

脈々と受け継がれた
土地のDNA
ふるさとの歴史が
再び立ち上がる



演劇

あの時を、あの事を伝える
記録ではなく、記憶で



企画・制作
H.simple Design Studio
協力
なかの伝承の丘保存会
東北えびす

朗読

被災者として、その体験を伝える
次の災害で、誰かが辛い思いをしないように

3 複合施設がもたらすもの — “創造する力”を高め、広げる

My Rhythm My City 音を踏み、描き、それぞれの居場所へ
タップダンサー熊谷和徳のパフォーマンス



HIP HOP MUSIC LIVE-TEST TONE
思いと時代をすくい取り言葉で表現する
ヒップホップに乗せて、「あの時」を共有

災害を経て生まれる創造活動



そして 災害を経験したからこそ
日常を慈しみ、楽しみ、夢中になることを大切に



3 複合施設がもたらすもの — 都市の可能性を拡大

目指すホールは、都市の創造力を高めるホール

●2000席規模の理由

- ・全国的に、大編成オーケストラや本格的な舞台芸術公演の場としては2000席規模がひとつのスタンダードである
- ・これまで仙台でできなかった公演の実現により、文化芸術環境が底上げされる

●多機能の理由

- ・オペラ・バレエなどの総合舞台芸術の公演が可能となる
- ・ダンサー、俳優、演出家、脚本家、舞台技術者、映像作家など多様な人材が関わることで、人材やノウハウが育ち、地域の文化芸術力を総合的に引き上げることができる

●生音重視のホール

- ・人の声、人が奏でる楽器など生の音の響きを重視
人間の力や技を高め、生かす場となる



クラシックに適したコンサートホール形式とオペラ・バレエなどに適したプロセニウム劇場形式に転換が可能



3 複合施設がもたらすもの — 暮らしとまちをより豊かなものに

施設が主体となったコンテンツ創造

- ・国内外の著名オーケストラ公演
- ・オペラ、バレエなどの制作・上演
- ・市民参加型の作品創造 など

他都市施設・文化芸術団体との共同・連携による多様なコンテンツの展開

興味関心層の拡大

戦略的な広報・マーケティング

海外からの集客が期待できるソリスト等の起用も



仙台フィルハーモニー管弦楽団

- ・「我がまちのオーケストラ」
- ・国内外から「一度は聴いてみたい」と思われる存在に

地域の
文化芸術力の
向上

仙台の
文化芸術市場
の開発

仙台っていいな!
いつでも芸術に
触れられるまち

楽都仙台の
さらなる発展

人を呼び込む
(交流・関係・
定住人口の拡大)

音楽家になりたい!
こども達に
豊かな芸術環境を



仙台国際音楽コンクールの ブランド力向上

広域交流

イベントの開催

- ・仙台クラシックフェスティバルの充実
- ・合唱、吹奏楽などの全国大会、東北大会

3 複合施設がもたらすもの — 災害文化の創造拠点がある意味

トップクラスの音楽ホールが
唯一無二のオリジナリティを持つ

- ・震災の記憶や地域に根差した作品の創造
- ・仙台フィルは「災害から立ち上がるまちの象徴」へ
- ・文化芸術の創造力をアピール

災害をはじめ、
様々な困難に寄り添い、
解決していく文化芸術の力を
発揮できる

- ・感動や共感する力を生かす
- ・日常で広がった交流が、非常時に役立つ
- ・世代や言語を超えた繋がりを形成

文化芸術の力で、個人の記憶を
長く、多くの人に伝える
ノウハウを作り出せる

- ・朗読や演劇による伝承
- ・作品制作や上演ノウハウの支援

多様な表現
多様な活動



©佐々瞬

しなやかで
強靱に生きる
文化が定着



災害や困難に負けず、新たな創造を
生む場となる

- ・多様なアーティスト、活動が集まる場へ
- ・文化による他都市の復興支援

多様な出会い
多様な気づき

4 事業イメージ(文化芸術エリア)

文化芸術の力を社会の様々な領域に生かし、暮らしとまちを豊かなものとしていく

【ワークショップスタジオ／施設外】

ワークショップ・アウトリーチ

- ・こどもの発達段階に応じたプログラム
- ・高齢者、障害者などあらゆる人に向けたプログラム

活動が広がる基盤づくり

- ・研修・講座
- ・ネットワーク構築
- ・自主的活動の支援
- ・ノウハウの横展開



写真: 複合施設プレ事業「こんにちはコンサート」@仙台市立病院

- ▶ 地元人材との連携・協働
各分野の専門家との協働
(教育、福祉、テクノロジー等)
- ▶ プログラムの開発・蓄積
→ 他都市展開

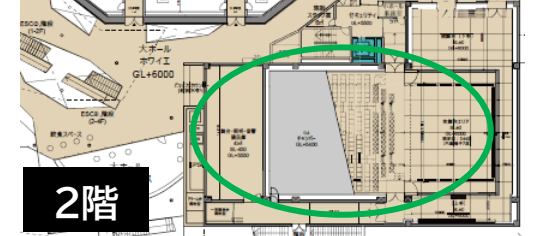


【参考事例】東京文化会館
ワークショップリーダーの育成

アーティストが仙台を拠点に活躍し、あらゆる人が文化体験を享受できるサプライチェーンを形成



小ホール



2階



リラックスコンサート @ 日立システムズホール 仙台

文化芸術による共生社会の共創

【小ホール】 ※大ホール、リハーサル室等でも実施

インクルーシブ公演

- ・障害のある人となない人で、ともにつくる舞台芸術作品
- ・「声を出してもいい」「寝転がってもいい」リラックスコンサート
- ・最新技術や新たな視点を取り入れた、鑑賞のバリアを除去する企画

【参考事例】

東京文化会館「コンビビアル・プロジェクト」(アートによる多元的共生社会実現)、「黙るな動け呼吸しろ」(ろう者と聴者が遭遇する舞台作品)

横浜みなとみらいホール「ミュージック・イン・ザ・ダーク」(視覚障害のある演奏家となない演奏家、聴衆がともに暗闇の中にいるコンサート)

仙台フィル



写真: 複合施設プレ事業「青葉山おんがくひろば」

文化芸術を介した地域づくり

- ・コミュニティ創生
- ・地域課題解決
- ・地域のレジリエンス向上



1階

4 事業イメージ(災害文化エリア)

災害の経験と記憶を、暮らしとまちの“根”とし
しなやかで強靱に生きる文化を日常に織り込んでいく

【展示スペース(常設展/企画展)】

災害に備え、乗り越えてきた人間の姿を知り、
その強さを日常に生かす意識変容に導く展示



【多目的交流スペース】

ワークショップ、講座、講演などにより、
多様な災害文化を知り、創り、実践する場



【市民活動スペース】

専門人材との対話、異分野マッチングなどにより、
新たな出会いや発想を生み出す場



【アーカイブスペース】

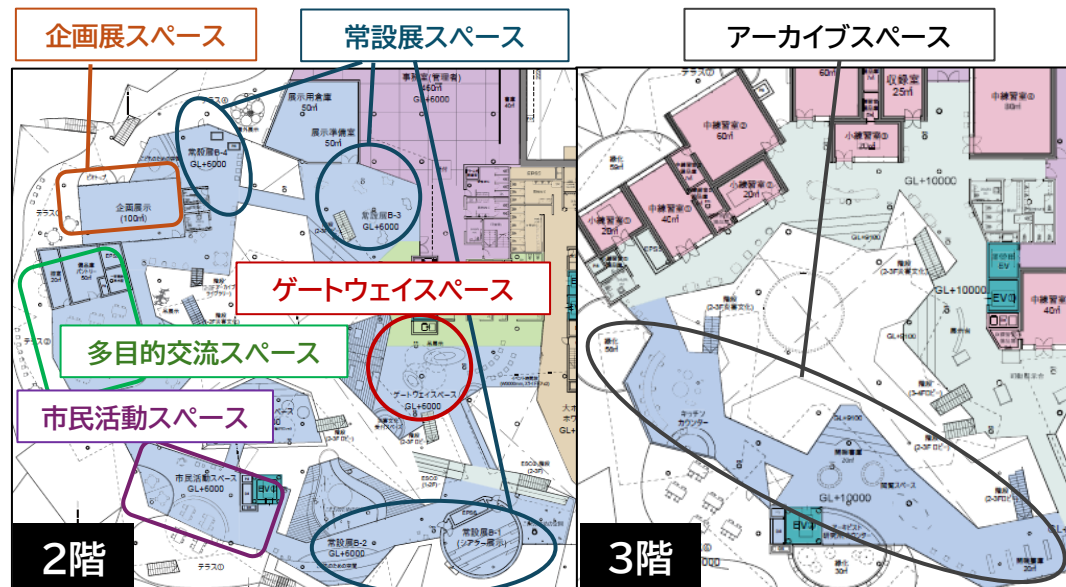
過去の災害資料を地域の防災力向上
と課題解決に生かす活動を支援



【ゲートウェイスペース】

出会う・つながる

- ・災害文化エリアが分かる
- ・沿岸部とつながる
- ・3.11被災各地とつながる
- ・青葉山エリアをつなげる



アニメや最新デジタル技術を活用し
訴求力のある空間を目指す



災害文化エリア

4 事業イメージ(交流イベントロビー)

新たな文化を創造し、広めていく複合施設の
“顔”として多様な活動、人、世代をつなげていく

日常的に行われる事業や活動

ロビーコンサート・演劇・朗読・ダンス・ワークショップ・
トークイベント・マルシェ



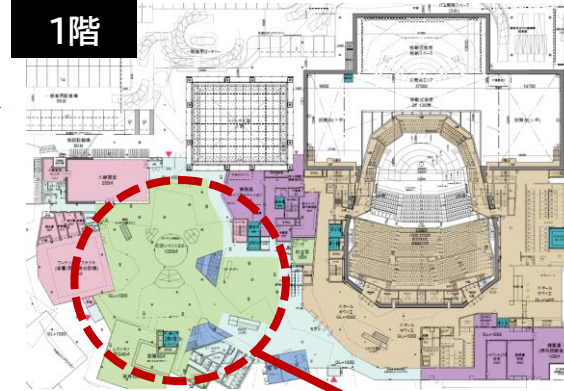
写真:青葉山おんがくひろば/仙台フィルメンバー
が贈る音楽物語「くろみ割り人形」



写真:My Rhythm My City タップダンサー熊谷
和徳による“震災を経て、表現を提起する”イベント



写真:HAT神戸連携防災イベント「イザ!美かえる大キャラバン!2026」
「災害の風化防止=若い世代・こどもへの教育」と捉え直し、楽しさをと継続性を重視したイベント



1階



吹き抜け全体は、多様な活動が共存し、
時には「つながる」ための空間

交流イベントロビーの活動が、空間全体を「つなげる」

特別な日に行われる事業や活動

3.11メモリアルイベントなど

3.11などの特別な日には施設全体で多様な企画を実施し、想いを共有
【交流イベントロビー】

- ・朗読劇、フォーラム、展示
- 【大小ホール】
- ・コンサート、演劇
- 【2、3、4階】
- ・特別展、ブース発表 など

文化芸術×災害文化
仙台ならではの文化が
展開される広場



【さらなる事業展開例】掛け合わせによるコンテンツの創造・発信

全国的・世界的に活躍する
仙台・宮城ゆかりの
クリエイター・コンテンツ

音楽 演劇 ダンス 漫画 アニメ
映画 文学 お笑い スポーツ



© (公社) 定禅寺ジャズフェスティバル協会

「楽都」「劇都」の蓄積

仙台フィル
仙台国際音楽コンクール
多彩な地元人材



これらの掛け合わせにより、
国内外から人を惹きつける
オリジナルのコンテンツを創造・発信
(楽曲制作／オペラ・演劇などの舞台作品など)

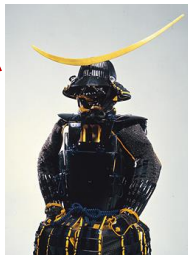
「学都」の蓄積

東北大などの研究機関
多様な教育機関

東日本大震災の経験



伊達政宗公を
はじめとする
仙台の歴史



他都市文化施設・
文化芸術団体・
社会教育団体との
ネットワーク

先端技術の活用

ホールの優れた
音響性能・舞台性能

「つなぐ」音楽の祭典

複合施設が核となり、
さまざまなものをつなぐことで
大きなムーブメントに

仙台と世界をつなぐ

内外から多くの人を惹きつける「仙台
オリジナル」のコンテンツの多面展開

文化芸術と災害文化をつなぐ

困難に立ち向かう文化芸術の力への
着目

トッププロと市民をつなぐ

トッププロと将来世代市民のふれあいの
場／市民主体のフリンジイベント

青葉山・都心部・沿岸部をつなぐ

街なかと連動したイベント展開や、
地下鉄東西線による「海と山」の回遊性
の向上

多様なジャンルをつなぐ

様々なジャンルの音楽・文化芸術の競演

【さらなる事業展開例】仙台の資源を活かした企画の実施

せんだい建築祭

市内・近郊の名建築物にスポットを当てた建築イベントの開催により交流人口を拡大



青葉山エリア
複合施設

歴史的建造物
景観重要建造物



仙台市歴史民俗資料館



宮城県美術館

有名建築家による建築物

- ・せんだいメディアテーク
- ・宮城県美術館
- ・市民活動サポートセンター
- ・宮城県図書館
- ・名取市文化会館
- ・マルホンまきあーとテラス



せんだいメディアテーク

近年、全国各地で建築イベントが開催

東京建築祭（2025年:延べ約11万人来場）
神戸モダン建築祭（2024年:延べ約2.3万人来場）
京都モダン建築祭（2025年:延べ約7.1万人来場） など

5 事業費の見込み

■整備事業費の見込み

	基本構想 (R5.7)	基本設計終了 (R8.3)	備考
①建設工事費	336億円	582億円	建築費：548億円 外構工事費：11億円 土壌汚染対策費：23億円
②設計・監理費	14億円	30億円	基本設計費：3.9億円 実施設計費：16.7億円 技術協力委託費：1.7億円 施工監理費：7.9億円
③関連整備費	—	34億円	文化財調査、CM業務、備品費、 展示製作費など
合計(①+②+③)	350億円	646億円	

※今後の物価上昇分除く

(コスト抑制の取組み)

・建設工事費の縮減等を図るため、設計段階から施工予定者が技術協力者として関与するECI方式という整備手法を導入する予定

(財源について)

・国庫補助金の活用を検討を進めるほか、地方財政措置制度のある地方債の活用やふるさと納税による資金の調達など、実質的な本市の財政負担の軽減を図っていく

■運営・管理費の見込み

- ・他都市の類似施設の運営状況等を参考に試算した、運営・管理費の支出額の想定は約18億円/年
(維持管理費約8億円、人件費約5億円、事業費約5億円)
- ・収入の見込みとしては、施設の使用料収入約2億円、事業収入(チケット収入、補助金等)約2億円のほか、協賛金・寄付金等の外部資金獲得を見込む

6 歳入アップの取組み

【設置者における外部資金獲得】

・ネーミングライツ、ふるさと納税制度の活用など

【指定管理者における外部資金獲得】

・補助金・助成金の獲得
・スポンサー制度、賛助会員制度、クラウドファンディングなど

全国トップクラスの文化施設を対象とする「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」の将来的な獲得を目指す

7 経済的効果の拡大に向けた取組み

施設の魅力を最大限に活用し観光施策と連携することで、観光消費額の大きい県外来場者及び宿泊者数の拡大を図り、経済波及効果を高めていく。

【施設としての取組み】

魅力的なコンテンツの開発、戦略的な新規創客、建築物の個性を生かす取組みなど

【青葉山エリア全域および全市的な観光振興の取組み】

大規模会議誘致、ナイトコンテンツ整備、複数施設の周遊促進、観光消費促進など

👉 来場者数・経済波及効果の推計

来場者数見込(年間) … 約72万人

上記のうち県外来場者数見込(年間) … 約11.8万人

県内の経済波及効果(年間) … 約87億円

※既存施設やイベントの実績を基にした試算

来場者数見込(年間) 約54万人

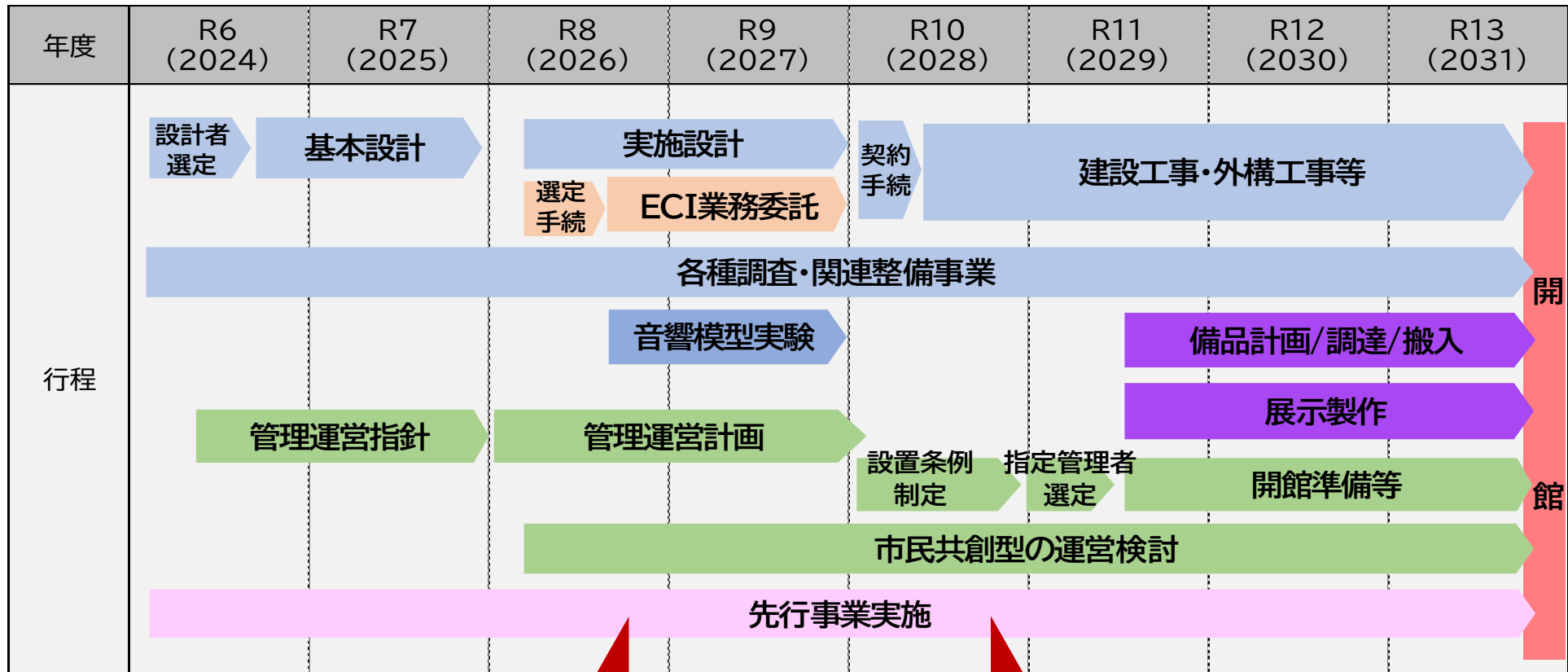
上記のうち県外来場者数見込(年間) 約4.7万人

県内の経済波及効果(年間) 約47億円

8 今後のスケジュール

●情報発信

施設の整備状況や実施する事業など、伝わりやすい動画コンテンツなどを作成し様々な情報発信を展開していきます。



●事業モデル構築と機運醸成の取組み

開館後の事業のモデルとなり、多くの人に施設の意義を実感できるプレ事業について取り組んでいきます

●市民共創型の運営検討

施設の事業や運営について、多くの市民や有識者が参画して意見・知見を持ち寄って対話する場を設け、市民共創型の運営検討を進めます

9 お知らせ

■基本設計が完了しました

建築の内容を詳細に知りたい方は、仙台市HPをご確認ください

■管理運営指針を策定しました

施設の運営、実施する事業について詳細に知りたい方は、仙台市HPをご確認ください

■これまでこんな取り組みをしています

音楽ホールのプレ事業の取組み
災害文化のプレ事業の取組み

■施設に関してのご意見を募集しています

ご意見募集フォーム

「仙台市青葉山エリア複合施設」

で検索 →

